

氏名	北村 亜以
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4321 号
学位授与の日付	平成23年3月25日
学位授与の要件	医歯学総合研究科機能再生・再建科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Increased level of heme oxygenase-1 in rheumatoid arthritis synovial fluid (関節リウマチ患者における関節液中のヘムオキシゲナーゼ-1の上昇)
論文審査委員	教授 槇野 博史 教授 松川 昭博 准教授 大橋 俊孝

学位論文内容の要旨

関節液と滑膜組織におけるヘムオキシゲナーゼ-1 (HO-1)の発現とリウマチ滑膜線維芽細胞 (RASFs)における様々な刺激による HO-1 産生について検討した。関節液は関節リウマチ(RA)患者及び変形性関節症(OA)患者の膝関節より採取し、HO-1 及びマトリックスメタロプロテアーゼ 3 (MMP-3)を酵素免疫測定法(ELISA)にて測定した。関節液中の HO-1 は OA に比し RA で有意に高値であり、RA では血清中の CRP に比例して上昇し、関節液中の MMP-3 と弱い関連を示していた。滑膜組織の免疫組織化学検査ではパンヌス中の浸潤滑膜細胞に HO-1 の発現が認められた。培養 RASFs 上清の HO-1 発現を ELISA にて測定し、インターロイキン-1 β および腫瘍壊死因子- α 刺激により HO-1 発現は亢進した。これより滑膜組織に発現している HO-1 は炎症性サイトカイン刺激を受けていると考えられる。また、関節液中の HO-1 濃度は RA 患者の関節炎のマーカーとして有用であると考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は、関節リウマチ (RA) 患者において関節液と滑膜組織におけるヘムオキシゲナーゼ-1 (HO-1) の発現とリウマチ滑膜線維芽細胞 (RASFs) における様々な刺激による HO-1 産生について検討したものであるが、関節液中の HO-1 は変形性関節症に比し RA で有意に高値であり、RA では血清中の CRP に比例して上昇し、関節液中の MMP-3 と弱い関連を示していた。また、滑膜組織の免疫組織化学検査ではパンヌス中の浸潤滑膜細胞に HO-1 の発現が認められた。従って関節液中の HO-1 濃度は RA 患者の関節炎のマーカーとして有用であると考えられ、重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。